

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地震(津波)、水害、火災の各災害における施設の対応状況を地域に周知し、地域と協力しながらの災害対策と避難時の援助体制の構築を進めることができる。	①災害時における施設の現状(利用者の人数や移動の方法や職員配置)、対応方法(避難場所、移動手段、備蓄の程度)等具体的な情報を運営推進会議時に参加者に報告・提供する。感染防止の観点から開催が困難な場合は、資料を各地区の代表者に配布する。 ②施設での避難訓練の際には引き続きその旨を近隣住民に伝えていく。須賀崎、庵川両地区の区長を通じて避難訓練への地域住民の参加を引き続き促していく。地震津波を想定した町の一斉避難訓練にも参加し(一部参加)、避難所までの道のりやかかる時間などの確認を行う。またその結果を運営推進会議等で伝える。 ③災害時に連携が必要となる関係機関(行政・包括支援センター・各地区代表・消防署・地区消防団等)の連絡先や連絡の方法を職員全員に周知する。連絡先や連絡方法をまとめて掲示しておく。	6ヶ月
2					
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。